

第3学年 国語

1. 教科の目標

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2. 評価の観点と内容

学習の到達目標	知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
評価方法	〈授業〉授業への取り組み、振り返りシート 〈提出物〉ワーク、漢字学習、作文・レポート・鑑賞文等の作品 〈テスト〉定期テスト、単元テスト、小テスト（漢字・文法）、パフォーマンステスト（朗読、スピーチ）	

3. 学習の手引き

使用教材	教科書：国語・書写（光村図書） 副教材：国語スイッチ、漢字の学習、すらすら基本文法、書き方レンジャー	
学習方法	学校	①授業の準備をしっかりとしましょう。（忘れ物がないように。） ②人の発表をよく聞き、積極的に自分の意見を発表しましょう。 ③ノートは「授業内容」だけでなく、「予習」でも活用してください。ノートは必ず、縦書きにしましょう。授業では、黒板を写すだけでなく自分の考えもノートに書いておきましょう。 ④漢字テストは1週間に1回行います。出題範囲の漢字をしっかりと確認しておきましょう。 ⑤提出物は期限を守って提出しましょう。
	家庭	①語句・意味調べ、漢字の読み書き、本読みなどを行い、しっかり予習しよう。 ②教科書・ノートの見直し、ワークを繰り返し行うなど授業の復習をし、自分で考えることができるようにしておきましょう。 ③できなかったところは、解説を読んで、「なぜ違うのか」を理解しよう。授業で取り組んだ内容を中心に学習し、定期テストに備えよう。

4. 年間計画

学期	月	単元名	目標・評価の観点
1学期	4月	・世界はうついくしいと ・握手	・詩に用いられている語句や表現に着目して、詩の内容を捉えることができる。 ・時間・場所など、「現在」と「回想」の部分を読み分けるポイントとなる語句や、登場人物の心情や人物像を表す言葉、比喩表現などに着目して、内容を理解している。 ・「ルロイ修道士」の考え方や生き方について、自分で考えたことや感じたことを書くことができる。
	5月	・学びて時に之を習う 「論語」から ・文章の種類を選んで書こう ・漢字1（熟語の読み方）	・書き下し文や訓読文を、漢文の言い回しに注意して、朗読することができる。 ・現代語訳を作り、孔子の考え方を読み取ることができる。 ・孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えることができる。 ・随筆、物語、報道文など、さまざまな種類の文章があることを理解することができる。 ・修学旅行で心に残った出来事から題材を選び、その題材に関する情報を集め、記事の中で活用しながら書くことができる。 ・漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりすることができる。
	6月	・作られた「物語」を超えて ・説得力のある構成を考えよう ・【文法への扉1】	・ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、具体と抽象の関係を理解することができる。 ・原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、自分の考えをまとめることができる。 ・情報の発信者・出典、調査方法、情報の数などを確認して、必要な情報を集めることができる。 ・興味を引く導入や明確な主張、聞き手が納得できる根拠や提案の設定、適切な説明の順序などを考えて、話すことができる。 ・すでに学習した文法事項から、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりすることができる。

	7月	<ul style="list-style-type: none"> 俳句の可能性 言葉1 (和語・漢語・外来語) 毛筆、硬筆 	<ul style="list-style-type: none"> 語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み深めることができる。 俳句の形式とその特徴について理解し、俳句を創作することができる。 和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けすることができる。 文字の配列、書体など文字が与える効果を考えて書くことができる。
2学期	9月	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶 原爆の写真によせて 故郷 言葉2 (慣用句・ことわざ・故事成語) 漢字2 (漢字の造語力) 	<ul style="list-style-type: none"> 比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考えることができる。 現代社会の状況と重ね合わせながら詩を読み、作者の思いや考えに対して自分の考えをまとめることができる。 文学作品を読むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づくことができる。 「私」が考えている「希望」や望む社会の在り方などについてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べるることができる。 慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解することができる。 漢字の造語力を意識しながら、漢字を読んだり書いたりすることができる。
	10月	<ul style="list-style-type: none"> 人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 多角的に分析して書こう 	<ul style="list-style-type: none"> 内容の信頼性や客観性を確かめながら、それぞれの要旨を捉えることができる。 二つの文章を比較して共通点や相違点を表にまとめることができる。 自分の立場を明確にし、根拠となる事実を引用するなどして、自分の意見を書くことができる。 具体的な題材を基に、その価値についてまとめることができる。 自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書くことができる。
	11月	<ul style="list-style-type: none"> 初恋 和歌の世界 一万葉・古今・新古今 夏草―「おくのほそ道」から 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読することができる。 詩の構成や場面の展開に注意して、表現された情景や心情を読み取ることができる。 三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を読み取ることができる。 俳句と地の文との関係に注意しながら朗読することができる。 芭蕉の「旅」についての考えを読み取り、現代の「旅」がもつ意味と比較することができる。 芭蕉が見たものや感じたことを想像し捉えることができる。
	12月	<ul style="list-style-type: none"> 誰かの代わりに 漢字3 (漢字のまとめ) 〔文法への扉2〕 毛筆、硬筆 	<ul style="list-style-type: none"> 抽象的な概念を表す語句を辞書で調べたり、文脈上での意味を確認したりしながら、文章を読み取り取ることができる。 文章を批判的に読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめることができる。 二年生までに学習した漢字を、文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることができる。 単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解することができる。 将来に向けての決意を自分なりの決意を持って書くことができる。
3学期	1月	<ul style="list-style-type: none"> 温かいスープ 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生き方と作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何か自分の考えをまとめることができる。
	2月	<ul style="list-style-type: none"> わたしを束ねないで 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の使われ方や表現の特色に気をつけながら詩を朗読することができる。 詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えることができる。
	3月	<ul style="list-style-type: none"> 学習を振り返ろう 	